

令和3年度 医療安全管理部 包括的公表

医療安全管理部医療安全管理室

海南病院では医療安全対策に関する事案の包括的公表を行っています。

1. 目的

: 患者の知る権利を保障し医療の透明性を確保するため、更に職員に医療安全の意識の向上と事故の再発防止に役立てることを目的とする。

2. 対象

: 報告の対象となるものは、患者の生死にかかわる極めて重大なものに限らず、院内で発生したすべてのインシデント・アクシデント、予期しない薬剤などによる重大な副作用や、広く社会に警笛を鳴らす意義が大きいと考えられる報告もその対象としている。

3. 医療安全報告件数（公表基準に基づき、令和3年度集計結果を公表）

1) 事象レベル

事象レベル	傷害の継続性	傷害の有無	傷害の程度
レベル 0.01	なし	なし	仮に実施されていた場合、患者への影響は小さかった（処置不要）と考えられる
レベル 0.02	なし	なし	仮に実施されていた場合、患者への影響は中程度（処置が必要）と考えられる
レベル 0.03	なし	なし	仮に実施されていた場合、身体への影響は大きい（生命に影響しうる）と考えられる
レベル 1	なし	なし	患者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できない）
レベル 2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）
レベル 3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の抱合、鎮静剤の投与など）
レベル 3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長）
レベル 4	永続的	高度	永続的な障害や後遺症が残った
レベル 5	死亡		死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）

2) 令和3年度 医療安全報告件数

事象レベル	レベル 0.01～3b	レベル 4～5	計
報告件数(件)	4,231	1	4,232

3) 令和3年度 事象分類別報告件数

事象分類	年間件数 (件)	構成比	前年件数 (件)	増減 (件)
薬剤関連	935	22.09%	909	26
輸血	17	0.40%	25	△8
治療・処置	181	4.28%	175	6
医療機器・用具	150	3.54%	119	31
ドレーン・チューブ	916	21.64%	962	△46
検査関連	365	8.62%	356	9
療養上関連	1,470	34.74%	1,388	82
物品搬送	1	0.02%	1	0
放射線管理	0	0.00%	0	0
診療情報管理	165	3.90%	159	6
患者・家族の説明	20	0.47%	22	△2
施設・設備・その他	12	0.28%	9	3
合計	4,232	100.00%	4,125	107

4. まとめ

令和3年度は入院患者さんの高齢化に伴い、患者要因が大きく影響する療養上関連の事象が増加した。また、手術室において機器の経年劣化による破損等が発生した影響もあって医療機器・用具の事象が増加した。手術機器については、手術に大きな影響を及ぼすため、機器の管理方法等の早急な改善や計画的な更新を実施していく必要があると考えている。

事象レベル5の発生は1件であった。患者さんが自ら酸素マスクを外してしまい、酸素濃度が低下。モニターのアラームは鳴動したが、看護師がナースステーションを離れていたため、訪室するまでに時間がかかってしまい、看護師が訪室した時点では、すでに呼吸停止していたという事象であった。ご家族には、最後に寄り添えなかったこと、看取りに間に合わなかったことを謝罪するとともに、医療安全管理部において対応が遅れてしまった経緯を調査し報告を行った。

海南病院は、今後も発生した事象の調査・分析、改善策の検討・実施を通じて事故の再発防止に努め、地域の皆様の信頼を得られるよう取り組んで参ります。